

シャン・ジャック広場

宮城県仙台市と今年で姉妹都市提携 50 周年を迎えるレンヌ市は、ブルターニュ州の州都であり、政治、経済、文化の中心地です。1720 年に起きた大火や第二次世界大戦のため、歴史的建造物の多くが消失しましたが、シャン・ジャック広場では、大火や戦災を免れたモルタル塗りで木骨組みの 15～16 世紀の家並みを今でも見ることができます。モルタルの上塗りは火災予防の意味もあったようです。レンヌ市はこのような中世以来の伝統的な建築と近代的な建築が調和した街としても知られています。



世界の地域から レンヌ（フランス）



レ・シャン・リーブ

© Destination Rennes / Benoît Gendron

フランス人建築家クリスチャン・ド・ポルザンパルクの設計で 2006 年 3 月にオープンした文化施設です。ブルターニュ博物館、プラネタリウムを備えた科学館、6 階層からなるレンヌ市図書館が複合されています。建物にはレンヌの属するイル＝エ＝ヴィレーヌ県を特徴づける赤紫の頁岩、コンクリートおよび、ガラスが使用され、2 万 4,000 m²の敷地に、3 つの施設が美しく調和した状態で建築されています。フィルム映像などのさまざまな演出を加えながら、ブルターニュの歴史や風俗の展示を行っています。